

北アルプス・燕岳、大天井岳 夏山山行

台風一過だったが、天気悪く表銀座コースの縦走は断念

2018年8月24日夜～27日

<参加メンバー> 6人(男性3人、女性3人)

<天候> 8/25 霧、雨 8/26 晴れ時々曇り、強風 8/27 晴れ

<コースタイム>

8/24 (金)

阪急梅田三番街B T21:40 夜行バスで出発
(マイカー組は午前中に出発し、現地で前夜泊)

8/25 (土)

6:00 松本BT着 6:27 松本駅 ~ 6:53 豊科
駅、先発組と合流し、中房温泉へと向かう ~
8:30 中房温泉第二駐車場 8:40 スタート ~ 8:
49 登山口 9:10 発 ~ 9:50 第一ベンチ ~ 10:
34 第二ベンチ ~ 11:25 第三ベンチ ~ 12:28
富士見ベンチ ~ 13:16 合戦小屋 13:40 ~ 14:
43 燕山荘 (キャンプ場)

8/26 (日)

4:00 起床、6:09 発 ~ 6:42 蛙岩 (ゲエロイ
ワ) ~ 9:05 切通岩 ~ 9:15 槍方面との分岐
~ 9:50 大天井荘 10:00 ~ 10:20 大天井岳
頂上 10:25 ~ 10:35 大天井荘 10:50 ~ 11:
15 槍方面との分岐 ~ 11:20 切通岩 ~ 14:14
燕山荘
14:34 燕山荘発 ~ 15:09 燕岳頂上 15:15 ~
15:43 燕山荘

8/27 (月)

4:30 起床、6:30 発 ~ 7:25 合戦小屋 7:30
~ 8:20 第三ベンチ ~ 8:54 第二ベンチ ~ 9:
15 第一ベンチ ~ 9:45 中房温泉 (登山口) ~
入湯後、信州蕎麦を食し、一路宝塚をめざして帰
る。 宝塚着 18時頃

<山行の概要>

山行前に突然発生した台風20号が兵庫県を縦断して日本海を北東進して抜けていった。普通なら台風一過で天気は回復すると思われるところだが、東北部に秋雨前線が発生して高山をめざす登山には芳しくない天気模様となった。出発時点で山行を実施するか否かメンバーと協議して、結果として縦走路では強風が予想されたため、常念岳から燕岳への縦走は断念して、燕岳から大天井岳へのピストンに切り替えることとなった。

1日目 夜行バスで松本に到着後、JRで豊科駅へ移動して先発していたマイカー組の2人と合流し、計画変更を伝えて打ち合わせの後、中房温泉登山口へと向かった。

登山口では雨が降り出しており、カップを着てのスタートとなった。北アルプス3大急登と言われるルートを進んで順調に高度を稼ぎ、合戦小屋ではいつものスイカを食して鋭気を養い、燕山荘へと向かった。この日は雨が降ったりやんだりの天気であったが、テント場は既にびっしりとテントが張られていた。小屋組の3人は何とか一人1枚の布団が確保できたようだ。

この夜は燕山荘で雲上のコンサートがあるとのことで、テント組もこそっと演奏を聴きに行ったが、バイオリン、チェロなどの生の音色は素晴らしかった。

2日目 天気は晴れ間が一部に見られるが、風が強い。予定どおり大天井岳へのピストンを行なった。途中、風速10mはあろうかと思われる強風の中での行動となったが、この風も時間がたつにつれて収まってきた。そして雲の中にあつた槍穂の稜線も次第に雲がとれて、素晴らしい展望を楽しめた。このルートは銀座と呼ばれるだけあって天気が悪くとも登山者は多い。

大天井岳へのピストンから戻ってすぐに燕岳へのピストンを行ない、この日は約9時間程の行動となった。

3日目 この日は天気も良く快調に下山していったが、月曜日で平日にもかかわらず下から登ってくる入山者が多く、何度も離合するたびに待たねばならなかった。登山口の中房温泉では数年前にできたという露天風呂に入り、汗を流して帰路に着いた。

8/25 燕岳への入山日



1. 中房温泉第二駐車場に到着し、準備を整えていざ出発



2. 中房温泉登山口に到着



3. 雨の中、さあ出発だ



4. 第一ベンチでしばし休憩



5. 急登が続く



6. オオカメノキ(ムシカリ)の赤い実



7. 第二ベンチでまた休憩



8. 赤い実、何の実？(花ならある程度絞り込めるが、実から同定するのは難しい)



9. まだまだ急登が続く



10. 第三ベンチに到着



11. カニコウモリ



12. カップを着ての急登は暑い



13. 富士見ベンチに到着



14. オヤマリンドウ



15. 合戦小屋まであと10分



16. 合戦小屋に到着



17. そして、いつもの甘～いスイカを食す



18. スイカ おいし～!!



19. ナナカマドの実



21. ミヤマアキノキリンソウ



21. タテヤマアザミ か？



22. 合戦沢の頭の三角点(2488.1m)



23. 霧の中、燕山荘のテント場が見えてきた
(本日の行動はこれにて終了)

8/26 大天井岳、燕岳へのピストン



1. 早朝、燕岳がくっきりと見えていた



2. 燕山荘へ小屋組を迎えに行く



3. 燕山荘のテント場 立錐の余地がない程
テントで一杯



4. 大天井岳へ出発前に全員集合
(バックは燕岳)



5. これから行く大天井岳がくっきりと見えて
いた



6. しばらくは平坦な道を行く



7. 蛙岩(ゲエロイワ)の下を行く



8. 岩の間を抜ける



9. 朝日を浴びてハイマツの間を抜ける



10. ウメバチソウ(本来、湿性植物だが路端のあちこちに咲いていた)



11. シラタマノキ



12. 白い花はミヤマコゴメグサ



13. 大天井岳がだんだん近づいてくる



14. カラマツの風衝木



15. ガレた道を行く



16. 雲の中から槍ヶ岳の穂先が僅かに見え出した



17. タカネヨモギ



18. ようやく槍ヶ岳の全容が姿を現した



19. ホソバトリカブト?とタテヤマアザミ?



20. 大天井岳と槍ヶ岳



21. 花の終わったコマクサ



22. 2500m以上の稜線は既に秋。草紅葉にvariだしていた



23. 大天井岳をバックに暫し、休憩



24. 切通岩の鎖場と階段



25. 槍ヶ岳との分岐に到着



26. 大天井荘に到着



27. 大天井岳頂上へと向かう



28. 大天井岳の三角点(2921.9m)



29. 頂上でパチリ



30. 奥の穂高連峰の稜線はまだ雲の中



31. 下山を開始し、槍との分岐まで戻ってきた



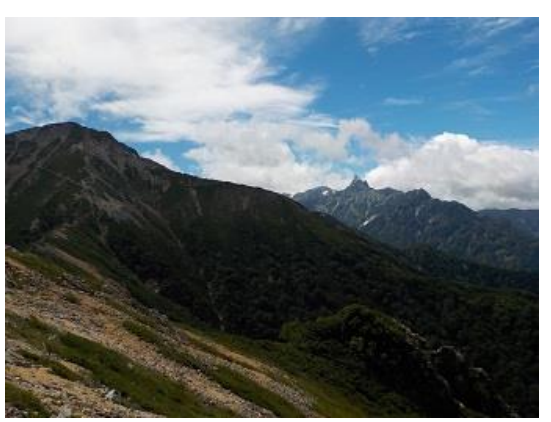
32. 切通岩への階段を下る



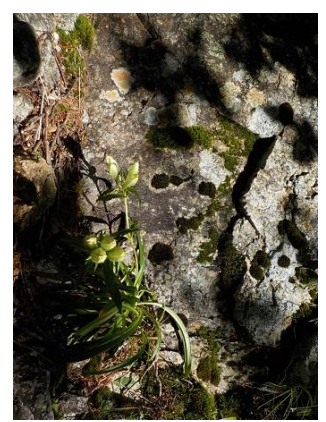
33. 切通岩の鎖場を通過



34. コマクサの花が一輪、かろうじて咲いていた



35. 振り返って大天井岳と槍ヶ岳を眺める



36. 少し分りにくいですが秋を代表するトウヤクリンドウ



37. クロマメノキ(日本のブルベリー、決行旨い。しかし、雷鳥などの貴重な餌となるもので、取りすぎないように…)



38. コケモモの赤い実(これも食べられるが少し酸っぱい)



39. 燕山荘に戻ってきた



40. 燕岳頂上めざして、今度は空身で出発



41. これ何のポーズ？



42. メガネ岩にて(みんなメガネのポーズ)



43. 燕岳頂上にて(すごいべっぴんで爽やかな女性にシャッターを押してもらった)



44. 花の終わったコマクサのお花畑(柵の中、転々とあるのがコマクサ)



45. 燕山荘に戻ってきた



46. 一日の山行を終わり、そして、生ビールで乾杯！ 生中一杯800円也

8/27 下山日



1. 夜が明けた 下山日は快晴であった



2. 朝日を浴びるテント場と燕山荘(テントは初日に比べると随分減っていた)



3. これが二晩を過ごした北摂テント



4. 楽しかった山行も下山の道を残すのみとなった



5. ヤマハハコ



6. 合戦小屋の荷揚げ用ケーブル



7. 合戦小屋前にてハイポーズ



8. 朝日を背に受ける昔の乙女ふたり



9. 第三ベンチを通過



10. 急坂を今度は激下りする



11. 第一ベンチを通過 中房温泉まであとわずか



12. なおも激下りは続く



13. ようやく中房温泉登山口に到着



14. そして、温泉に入る。下山後の風呂は何ともいえん
これにて、当初計画どおりの山行とはならなかったが、楽しい山行は終了した



15. おまけ
帰りの車中でお猿軍団と出くわす。今年生まれたと思われる小猿や子供の猿がたくさんいた。健やかに育ってくれよ...